

📌 制度の概要

技術課題や社会課題の解決に資する多様なシーズ・解決策を**コンテスト形式による懸賞金型の研究開発方式**を通じて募り、将来の社会課題解決や新産業創出につながるシーズをいち早く発掘することで、共同研究等の機会創出、シーズの実用化、事業化の促進をねらって実施するものです。

生成AIに関する技術開発・社会実装の取り組みを対象として、**3領域（4テーマ）**を設定し、これらを実現する革新的な技術やソリューションに対して最大総額約8億円の懸賞金を授与するコンテストを実施します。

🏆 支援内容

❑ 領域01：社会課題解決AIエージェント開発

懸賞金**5,000万円**×上位3社

懸賞金方式

❑ 領域02：官公庁審査業務効率化AI開発

懸賞金**1億円**×上位3社

懸賞金方式

❑ 領域03：生成AI安全性確保技術開発

懸賞金**7,000万円**×上位3社

懸賞金方式

👤 対象となる取組

【領域01：社会課題解決AIエージェント開発】

- 製造業の暗黙知の形式知化に資するAIエージェント
- カスタマーサポートの生産性向上に資するAIエージェント
- 国産基盤モデルを活用したAIエージェントの開発・実証

【領域02：官公庁審査業務効率化AI開発】

- 特許審査業務をモデルとした審査業務効率化
- 大量情報データベースからの情報探索・分析技術
- 審査結果の判断支援に資する生成AI技術

【領域03：生成AI安全性確保技術開発】

- 生成AIの安全性に関わるリスクの特定技術
- リスク低減を目的とする技術開発
- 安全性評価・検証に関する技術の提示

👥 対象者

- 領域01**：日本国内の法人・団体（ユーザー）、開発者は個人も可
- 領域02・03**：日本国内の法人・団体のみ
- 企業、大学、国研、官公庁、地方公共団体等が対象
- 領域01では必要に応じてユーザーと開発者のペア応募可能

💡 採択率向上のポイント

- 技術的優位性の明確化**：既存技術との差別化を具体的に提示
- 社会実装の実現性**：**実証成果**とデモンストレーションの充実
- 国産基盤モデル活用**：領域01では国産モデルとの連携必須
- 横展開性の訴求**：他業界・領域への適用可能性を強調

📊 戦略的分析

【懸賞金制度の戦略的意味】

- 成果重視型評価**：従来の計画書ではなく実証成果で競争
- コンテスト形式による**イノベーション促進**効果
- 事前投資リスクを企業が負担する新しい支援モデル

【マッチングプラットフォーム活用戦略】

- Slack活用**によるユーザー・開発者の効率的マッチング
- 大企業と**スタートアップ**の連携機会創出
- 技術シーズとユーザーニーズの最適な組み合わせ実現

📊 領域別懸賞金分布



最高額領域：官公庁審査業務効率化（1位1億円）

総懸賞金額：約8億円（全領域合計）

🔧 技術分野と活用例

技術分野	代表的な活用例
製造業AI	熟練技術者の暗黙知デジタル化、作業手順最適化
顧客対応AI	多言語対応、感情分析、問い合わせ自動分類
審査支援AI	特許文献検索、類似性判定、審査基準適用
安全性技術	ハルシネーション検出、バイアス除去、倫理チェック
基盤モデル	国産LLM活用、ドメイン特化型学習

👤 専門家活用のススメ

- 技術実証支援**：AIモデル開発・評価の専門的サポート
- マッチング戦略**：最適なパートナー選定と連携体制構築
- デモ最適化**：審査員に訴求力のある実証成果の演出
- 知財戦略**：技術優位性確保と事業化への橋渡し

📄 必要書類とチェックポイント

*このレポートは生成AIにて作成されています【2025/8/27作成】

提出書類	チェックポイント
取組概要（応募フォーム）	<input type="checkbox"/> 選択テーマ の明確な記載 <input type="checkbox"/> 利用する 基盤モデル の特定 <input type="checkbox"/> ユーザー・開発者体制の明示
AIエージェント提案書	<input type="checkbox"/> 技術的優位性の具体的説明 <input type="checkbox"/> 横展開性・導入メリット明記
デモ動画	<input type="checkbox"/> 実証成果の視覚的な表現 <input type="checkbox"/> 操作性・機能性の実演
プロトタイプ（領域02・03）	<input type="checkbox"/> 動作可能な生成AIシステム <input type="checkbox"/> 技術仕様書の添付

📅 申請スケジュール

📌 事前準備期間

技術開発・実証に3～6ヶ月程度。マッチング希望者はSlackコミュニティ参加必須。国産基盤モデル選定と連携調整が重要。

📌 応募フォーム提出

領域01：2025年9月末まで

専用Webサイトから応募概要提出。事務局による適格性確認あり。

📌 本審査応募

全領域：2025年12月15日（月）締切

提案書・デモ動画等の本格的な審査資料提出

📌 審査・表彰式

2026年3月（予定）

書面審査・デモ実演による総合評価

📌 懸賞金交付

2026年5月予定

表彰式後の成果普及イベント実施後に交付決定

⚠️ 補足事項

- 領域によりトライアル審査通過者への賞金や審査員特別賞あり
- 応募に係る費用は全て応募者負担となります

❓ 問い合わせ

制度詳細 https://www.nedo.go.jp/koubo/CD2_100402.html専用サイト <https://geniac-prize.nedo.go.jp/>

お問い合わせ NEDO AI・ロボット部

担当者：石井、高草木、新

※お問い合わせは制度詳細ページより確認ください